

1. はじめに

コリドラスという南米原産のナマズ目の魚をご存知だろうか。熱帯魚を飼ったことがある方ならすぐにピンとくるはずだ。それほど有名な魚ではあるが、知られているのはごく一部である。実際、私も学名が記載されているものだけで 150 種以上いるコリドラスのうち、10 種ほどしか知らない。(ちなみにこの 150 種というのはひとつの属に含まれる魚種としては最多)

150 種もいると、当然似たようなものも出てくる訳で、素人には区別がつかない。そこで今回はコリドラスの分類について調べてみることにした。

2. 基本的な生態について

ナマズ目カリクティス科コリドラス亜科コリドラス属に分類され、チリを除く南米に広く分布している。体長は 3cm から 10cm ほどである。ペットショップなどでよく流通しているものと言え、コリドラス・パンダやコリドラス・アエネウス(通称赤コリ)、コリドラス・パレアトゥス(通称青コリ)などが挙がる。最近では、コリドラス・ピグミー(通称ミニコリ)なども人気が高まっている。



左からコリドラス・パンダ，コリドラス・アエネウス，  
コリドラス・ステルバイ…[1]

一般的に、大きな河川の支流や、沼地などの水底に生息している。あまり知られていない事実として、多くの種が自然下では群れを作り、時には数千匹にもなることもある。ナマズの仲間は夜行性のものが多いが、コリドラスは昼行性であり、観賞には非常に適している。

観賞魚としては 1970 年代から親しまれ、新種の発見などに伴って現在では最も人気のある観賞魚の 1 つである。観賞魚として売られている

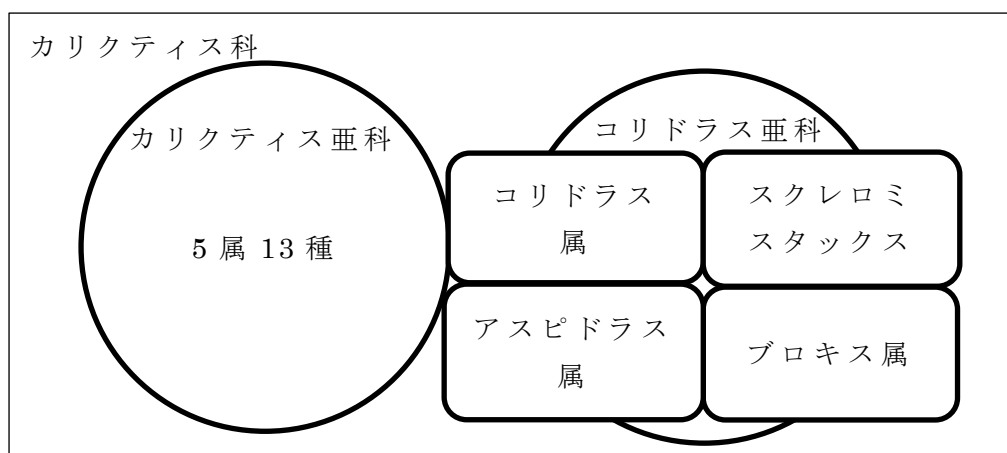
ものでは大体 5cm ほどである

### 3. ナマズ目とは

11 上科 35 科 446 属 2867 種(Nelson,2006)から成る。淡水魚種の 2 割を占めている。

ディプロミュステース上科、ケートプシス上科、ロリカリア上科、シソル上科、プセウドピメロドゥス上科、ヘプタプテルス上科、カモツワモノ上科、アメリカナマズ上科、ドラス上科、ナマズ上科、ギギ上科で構成されており、コリドラスはロリカリア上科の中のカリクティス科コリドラス亜科に含まれる。同じロリカリア上科にはロリカリア科のプレコの仲間が挙げられる。プレコも観賞魚としては人気の魚である。

コリドラスに近縁な属としては、カリクティス科のコリドラス亜科にアスピドラス属、プロキス属、スクレロミスタックス属がある。アスピドラス属はコリドラスの体を細長くしたような小型種である。プロキス属は一般的なコリドラスよりやや大型になる点と、背ビレの幅が広い点で区別される。スクレロミスタックス属は以前はコリドラス属に分類されていたが、現在は別の属として分類されている。雄成魚は背ビレ軟条と胸ビレ棘条の伸長が目立つ。スクレロミスタックス属は大型になり、縄張り意識の強いという特徴もある。コリドラス・バルバートゥスという種類はコリドラスとして売られており比較的有名だが、この種は他のコリドラスと異なりコリドラス属ではなくスクレロミスタックス属に属している。カリクティス科の分類の全体像は以下の図のようになる。



上の図のコリドラス属が一般的にコリドラスと言われている属である。

### 4. コリドラスの分類

#### (1) 口先の長さによる分類

コリドラスの分類の方法として、口先の長さによる分類がある。ショ

ートノーズ、セミロングノーズ、ロングノーズの3種類に大別される。

・ショートノーズ

その名の通り、口先が短い種を指す。3種の中では最も飼いやすく、他種との混泳も可能である。自然下では群れを作ることもある。

・セミロングノーズ

ショートノーズとロングノーズの間に位置するグループ。見た目も性格も中間的である。

・ロングノーズ

ショートノーズ、セミロングノーズに比べ、非常に長い口先を持つ。飼育はショートノーズに比べ難しい。高水温に弱く、繁殖も難しい種が多い。縄張り意識も強く、自然下では少数または単独での行動が主である。

主にこれら3グループに分けられるが、以下のようなグループも存在する。

・ミニコリ系

ショートノーズよりもさらに小型のグループ。他のコリドラスに比べ遊泳性が高く、主に群れで活動する。

・エレガンスタイプ

低い体高と独特な形状の頭部が特徴的なグループ。他のコリドラスに比べ遊泳性が高い。名の通り体の模様が美しい種類が多い。

・ラウンドノーズ

ショートノーズよりもさらに口先が下を向いているグループ。



コリドラス・トゥッカーノ (ラウンドノーズ)      コリドラス・ステルバイ (ショートノーズ)      コリドラス・アムビアクス (セミロングノーズ)      コリドラス・フォーレリー (ロングノーズ)

…[1]

短い

口先

長い



## (2) 外見による分類

### ・プンクタートゥスグループ

体と頭に斑点を持つ。(ステルバイ、ジュリー、トリリネアートゥスなど)以下( )内は「コリドラス」省略。

### ・バルバートゥスグループ

後部と側面両方の体鱗に茶色いしみの色のパターンを持つ。(パレアートゥス、マクロプテルスなど)

### ・アエネウスグループ

体の上部に青灰色の体色を見せる。(ベネズエラオレンジ、ラバウティ、メリニなど)

### ・エレガンスグループ

体の横の鱗に沿って何本かのストライプを持つ。(ピグミー、ハブロースなど)

### ・アクトゥスグループ

長い鼻を持ち、ギザギザした胸ビレと灰色がかった色を持つ。(ソロックス、フォーレリーなど)



1 行目左からプンクタートゥスグループ、バルバートゥスグループ、アエネウスグループ、2 行目左からエレガンスグループ、アクトゥスグループの代表格。…[1]

一般的にはこのような 5 グループに分けられるが、勿論全てのコリドラスがきちんと 5 つのどれかに当てはまるという訳ではない。

私も調査を進めていく中でコリドラス・パンダはどのグループに属す

るのだろうと疑問に思ったりした。この分類方法はあくまでも外見上の分類なので、2 つ以上のグループの特徴を持つ種も多くいる。また、コリドラス属ではないコリドラス・バルバートゥスがグループの名前に使われるというようなことから、生物学的に正しいとは言い切れない分類方法である。

しかし、系統的に離れていたとしても同じような環境に生息することで、似たような外見になったとも考えられるので、コリドラスの分布と比較すると面白いデータが得られるかもしれない。

## 5. コリドラスの分布

外見で分類した際に同じグループに属する 3、4 種の分布を調べる。

### (1) プンクタートゥスグループ

コリドラス・ステルバイ…ブラジル-グァポレ川

コリドラス・シュワルツィ…ブラジル-プルス川

コリドラス・プンクタートゥス…プトゥマヨ川？(不確実)

### (2) バルバートゥスグループ

コリドラス・バルバートゥス…ブラジル-パラ川、フンボルト川

コリドラス・パレアトゥス…ブラジル-パラナ川

コリドラス・マクロプテルス…ブラジル-パラナ川

### (3) アエネウスグループ

コリドラス・アエネウス…コロンビア

コリドラス・ゴッセイ…ブラジル

コリドラス・メリニ…ブラジル-ネグロ川、コロンビア-メタ川

### (4) エレガンスグループ

コリドラス・ピグミー…ブラジル-マディラ川、シパラナ川

コリドラス・ハブローズス…ベネズエラ、コロンビア

### (5) アクトゥスグループ

コリドラス・トレイトリー…ブラジル

コリドラス・フォーレリー…ペルー

コリドラス・アクトゥス…ブラジル-ジャバリ川、ペルー-アマビアク川

具体的な川名が 3 つ全て判明していたプンクタートゥスグループの 3 種の分布は右図のようになった。北から順にプトゥマヨ川、プルス川、グァポレ川である。3 つの川はいずれも直接つながってはいなかった。…[2](太線部は編集)



少ないデータなので精度が悪いと思われるが、同じグループだからと言って近い地域に生息しているとは限らないと言えそうだ。

## 6. 考察

全く異なった地域に生息しているコリドラスが似たような外見になるのはおそらく、砂の色や天敵の数、周囲の水草の種類などが関係しているからだろうと思われる。砂の色などは現地に行って確認するのが最も優れた調査方法であると思う。

## 7. おわりに

今回の調査でコリドラスの生態や種類について詳しく知ることができた。今までは属を意識してコリドラスを見たことがなかったので、良い経験となった。反省点としては、コリドラスの進化の過程についても調べたら属の分類方法に対する理解がさらに深まったと思う。ロングノーズのコリドラスは気性が荒い理由なども調べてみたい。また今後のためにも分類学を学んでみたい。

## 8. 参考

・チャーム[1](画像)

<https://www.shopping-charm.jp/>

・ロリカリアな日々[2](画像)

<https://blog.goo.ne.jp/loricaria/e/a16cc054c5a2a943cd890afbfeb063a2>

・KAMIHATA BUSINESS ONLINE

<https://www.kamihata-online.com/shop/c/c1109/>

・AQUARIUM Wiki

<https://aqwiki.net/>

・ウィキペディア フリー百科事典

<https://ja.wikipedia.org/wiki/コリドラス>

・Xtal

<http://www2.tokai.or.jp/xtal/aq13.htm>

・動く大地とその生物

[http://umdb.um.u-tokyo.ac.jp/DKankoub/Publish\\_db/1995collection2/tenji\\_gyorui\\_30.html](http://umdb.um.u-tokyo.ac.jp/DKankoub/Publish_db/1995collection2/tenji_gyorui_30.html)

・熱帯魚なめんな！アクアリストぷれ子と愉快的仲間たち

<https://熱帯魚なめんな.com/2016/11/29/>

小林圭介『新コリドラス大図鑑:記載種 166 種すべて掲載』 エムピージェー、2015 年